



株式会社アペックスの 完全子会社化について

セレンディップ・ホールディングス株式会社





Table of Contents

1. アペックスについて
2. セレンディップの投資戦略
3. グループシナジー

株式会社アペックスの概要

アペックスは幅広い技術力を基に自動車部品を中心とする研究開発試作に強みを持つ

- 1975年4月設立。家電向けデザインモデル事業をスタート。
- 創業より試作品製造に特化した企業として 家電機器/OA機器/自動車部品/医療機器/アミューズメント機器等、多くの業界においてデザイン・ワーキングモデルを数多く手掛けてきた。
- 近年では 光学設計/電子制御/GUIデザイン の技術を取り入れて精巧かつ先進であることが求められる自動車部品を中心とするメカトロニクス製品の研究開発/商品開発を支援。

基本情報	
◆会社名	株式会社アペックス
◆設立	1975年4月
◆資本金	100百万円
◆代表者	代表取締役社長 景山 敏行
◆従業員数	84名（2022年10月末時点）
◆事業内容	1. 開発段階における試作受託 2. デザインモックアップ / 試作品 / 3Dモデリング / 機構設計 / 光学設計 / GUI・HMI開発サポート / GUIシミュレーター / マルチメディア制作 / 映像制作 / 電子基板 / 電子制御 / MC加工 / 3Dプリンター（ABS造形、光造形） / 二次処理 / 試作金型 / 注型
◆売上高	1,447百万円（2022年3月期）
◆拠点	東京都八王子市宇津木町 523番地1

セレンディップの投資戦略

アペックスの完全子会社化は成長事業への投資に位置づけ

- アペックスは、自動車業界等において成長分野である領域で高い付加価値を有していることから当社の投資ポートフォリオ上の成長事業への投資として位置付けている。

セレンディップ・グループ 投資ポートフォリオ

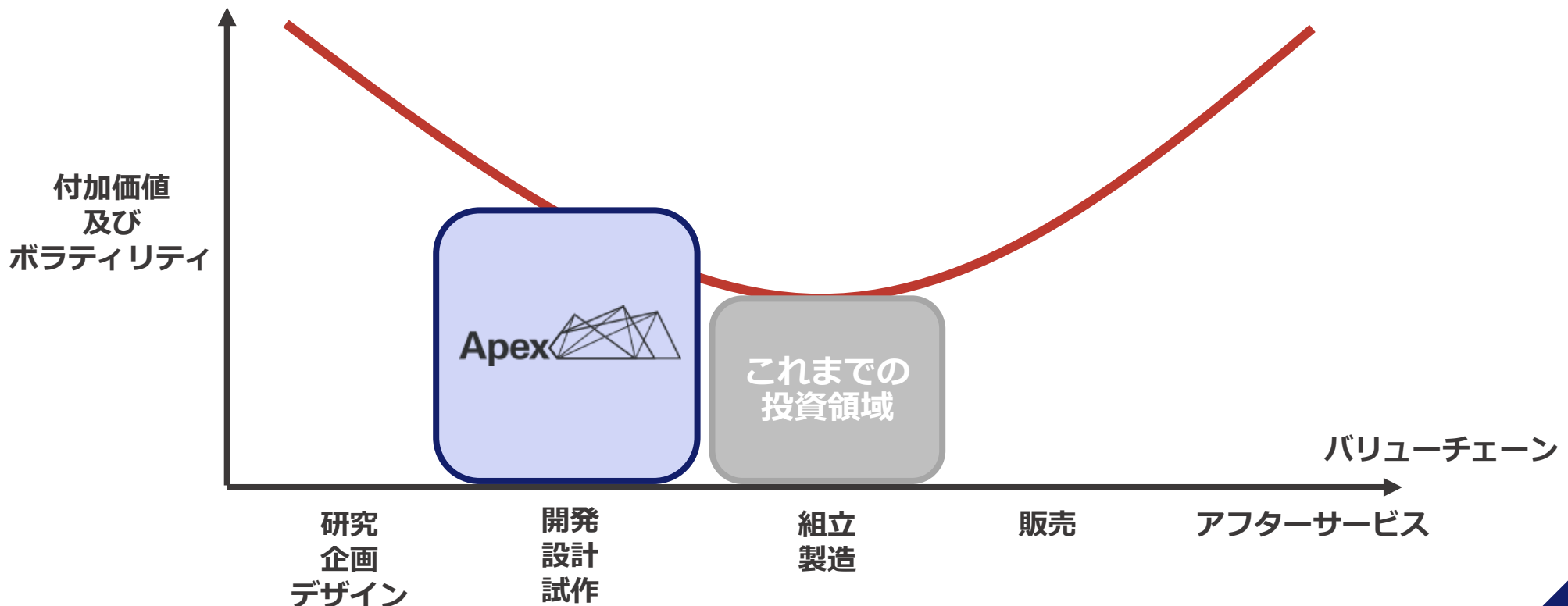
	モノづくり事業		事業承継プラットフォーム
	安定事業	成長事業	
テーマ	既存投資分野の拡大	高成長・高収益分野への参入	BtoBサービスの拡充
注力分野	1.自動車メーカー横断 電動パワートレイン、センサー、内装・外装など 2.モノづくりにおける新たな柱の確立 医療機器、建設機など	1.スマート工場 省人化・自動化、ロボットなど 2.新技術 環境・省エネ、光・電子、新素材など	1.DX、シェアード IoT、AI、業務アプリケーション、コンサルティングなど 2.CxO派遣・育成 人材サービスなど
投資比率	70%	20%	10%

セレンディップの投資戦略

バリューチェーン上の付加価値が高い領域への投資

- これまでは、付加価値は相対的に低いものの事業の安定性が高い（ボラティリティが低い）企業への投資を行い、安定した事業基盤を構築。
- 今回のアペックスの完全子会社化は、バリューチェーン上の付加価値の高い領域への投資。

自動車業界のスマイルカーブ



アペックスの子会社化で期待できるグループシナジー

アペックスの完全子会社化によりそれぞれの強みを生かした相互成長が可能

- グループ会社及びアペックスが持つ強みが相互に機能し更なる成長が見込める。
- 加えて、ホールディングスが持つインフラの提供により安定した経営基盤を構築。

セレンディップ・ホールディングス

- ① 経営インフラの提供
- ② バックオフィス業務の効率化
- ③ グループ財務機能

三井屋工業／佐藤工業

- ① 顧客との強固な関係性

アペックス

- ① 幅広い技術力
- ② デザイン
- ③ トрендとなる技術・材料のキャッチアップ
- ④ 提案力

セレンディップ・テクノロジーズ

- ① 技術者派遣
- ② アプリケーション開発

グループシナジーの先行例 – HiConnexの開発 –

HiConnexの開発においてグループシナジーが有効に発揮できることを実証

- 2022年10月にリリースした製造現場DX支援ツール「HiConnex」はグループ会社及びアペックスで協業し開発。
- アペックスの子会社化により、セレンディップグループシナジーである「グループ会社の製造現場の課題を解決し、かつ、そのノウハウを収益化に繋げるビジネスモデル」を今後も加速化させる。

現場のコミュニケーションが変わる！ HiConnex

かんたん操作
生産実績管理ソリューション 簡単 早く 安く

HiConnex

ハイコネックス

- 作業データ収集・活用
- 短期間での導入可能
- 導入コストを抑える

かんばん対応 ● 1ライセンスあたり月額1万円（※別途初期費用必要）

コスト削減効果が
目で見てわかる！

タブレットだから
サクッと

- 入力
- 記録
- 集計
- 分析

現場のみんなが喜ぶ効果！

1年で不良率を 40%改善

HiConnex 導入効果

*当社計測データより

SERENDIP HOLDINGS

企画・販売

セレンディップ・ホールディングス

PoC

三井屋工業

デザイン

アペックス

アプリ開発

セレンディップ・
テクノロジーズ

自動車業界のトレンドの変化

自動車業界の技術トレンドの変化に伴いアペックスの技術力及び知見が高い付加価値に

- 自動運転における顧客価値の変化により自動車部品の事業環境に変化が生じている。
- 「高価値空間の提供」という自動車のバリュー領域において、アペックスの事業領域であるメカトロニクス製品の技術及び知見が強みとなってくる。

自動運転に伴う車両部品構成の変化



※ 赤囲みはアペックスに影響を及ぼす項目

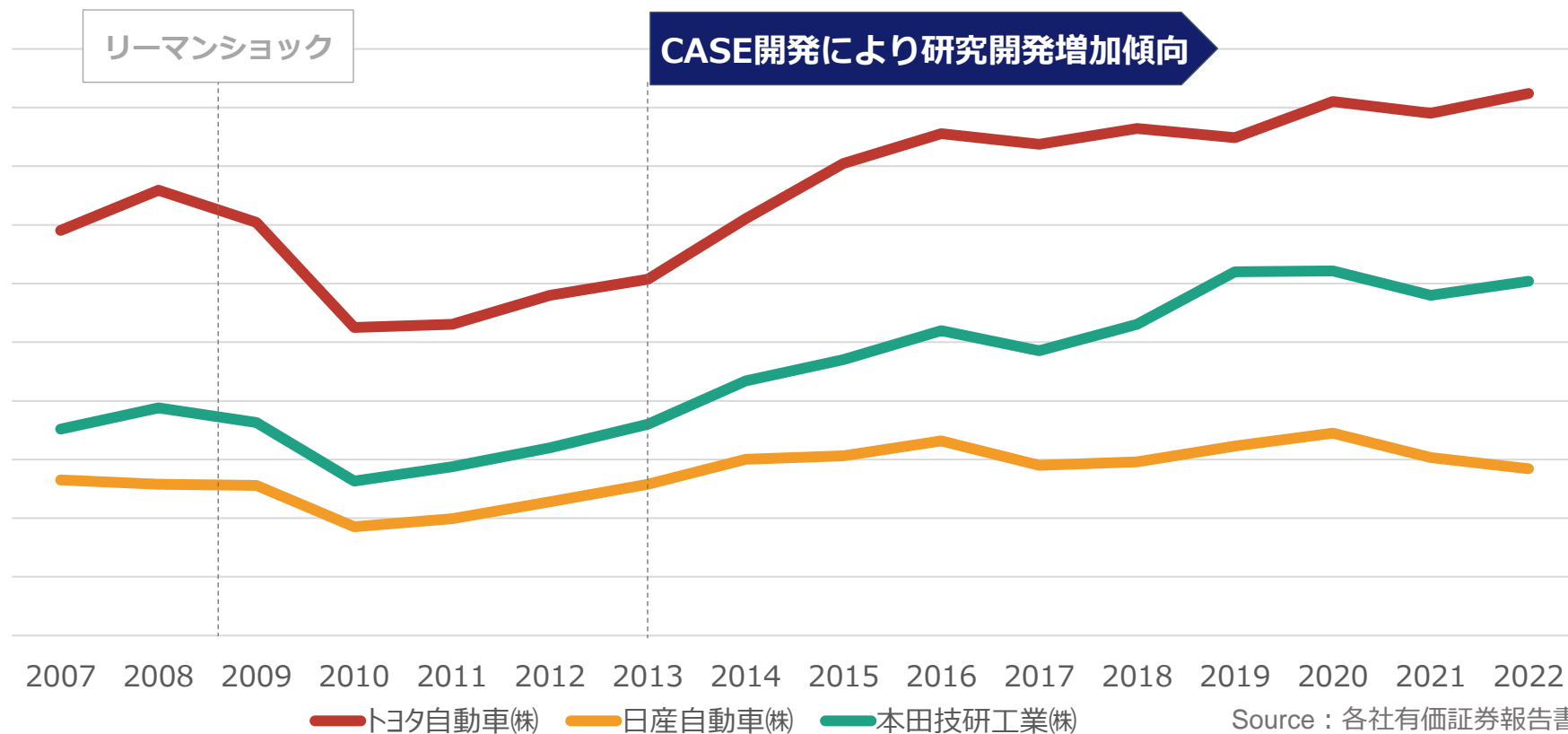
Source : 経済産業省『自動車部品産業の変遷に関する調査』を基に一部加工

自動車研究開発費市場

直近10年間で各社平均3%を超える増加率

- リーマンショック後、各社研究開発費を大幅に削減したものの、市場投入車種減少による収益悪化に加えて、CASE開発の必要性から研究開発費を増加。直近10年間でほぼ右肩上がりで推移している。

主要自動車メーカーの研究開発費推移



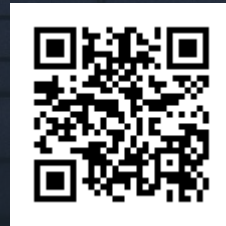
本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。



ir@serendip-c.com



Contact Us



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11
名古屋伊藤忠ビル



052-222-5306



<https://www.serendip-c.com/>